

データライブ リユース部品でサーバをメンテ メーカー保守切れでも5年利用延伸

データライブ（東京

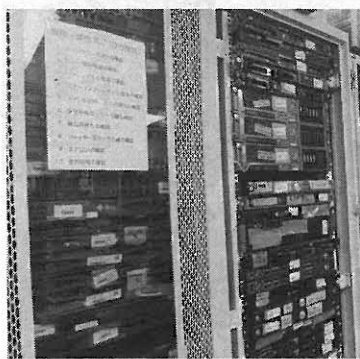
都文京区）が提供する、リユースサーバの販売と保守サービスの売上げが前期比1・5倍のペースで伸びている。リユースサーバそのものを販売することもあるが、保守部品の提供や、メンテナン스와あわせた契約を行うのが主なビジネスモデル



山田和人社長

だ。提供先は、システムインテグレーター（以下、SI）や、企業の情報システム室。メーカーの保守が切れたものの、あと3〜5年サーバの利用を延伸した

い際など、同社と『第三者保守』の契約を結ぶ。不具合や故障が起



データライブのセンターで
保管されるリユースサーバ

こつてもデータライブのメンテナンスを受けられるので安心して使い続けることができるという仕組みだ。第三者保守の需要は、リーマンショックを契機に拡大していると言つ。これまでは保守が切れると、廃棄して新しいものに入れ替えるか、不安を抱えて使い続けるしか選択肢が無かった

が、設備投資がしづらくなつたことで注目を浴びるようになった。アメリカやヨーロッパではすでに確立されているサービスだが、日本ではまだ認知度が低い。データライブでは国内でも需要が大き

いと見ており、さらにこの事業を拡大していく考えだ。

「お客さんの求めるサービスレベルやエリア、サーバのメーカーは多岐に渡ります。これらを満たすために、技術力を上げて保守網

を広げたいと思っています。そのため、全国のSIとパートナー

契約も結んでいます」
（山田社長）